

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

(参照先 <https://koutoku.ac.jp/toyooka/tushin/kodomo/about/curriculum/>)

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

通学課程では、本学ホームページの「こども学科の教員紹介」の中で、教員氏名、授業担当科目を公表している。教員氏名をクリックすると、教員紹介のページがある。当該科目は、授業概要（シラバス）2025 年度版にて「実務経験の概要」欄を設け、その中で公表している。

（参照先 授業概要 URL：<https://koutoku.ac.jp/toyooka/department/syllabus>）

（参照先 公表情報 URL：<https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/kouhyou/>）

通信教育課程では、「実務経験のある教員等による授業科目の配置」を作成し、ホームページで公表している。

（参照先 <https://koutoku.ac.jp/toyooka/tushin/kodomo/about/message/>）

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由） 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	豊岡短期大学
設置者名	学校法人弘徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表している。

<https://koutoku.ac.jp/assets/images/info/documents/r7-0502.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	法律事務所 弁護士	R6.4.1～R9 定時評議員 会	コンプライアンス に関する事項
常勤	団体職員	R7.1.1～R9 定時評議員 会	施設管理に関する 事項
(備考) 理事の学外者は全員で2名である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	豊岡短期大学
設置者名	学校法人弘徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 通学課程では、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)の作成を、毎年度、各科目担当教員に作成依頼している。作成されたすべての授業計画書(シラバス)は、教務委員会が本学の学習成果と各科目の学習成果の関連性及び記載項目の過不足について確認し、必要に応じて担当教員にフィードバックしている。 授業計画書(シラバス)は、教務システム(Active Portal)にて全学生に閲覧可能としているほか、本学ホームページにも掲載している。 通信教育課程では、授業のテーマ及び学習成果、授業の概要、授業計画、学生に対する評価等を記載した授業計画書(シラバス)の作成にあたっては、通信教育事務課より各科目担当者に作成上の注意事項等を記した資料を配付し、作成を依頼している。また、毎年、通信教育課程の授業編成会議を開催しその中で、全国から科目担当者が集い十分な協議を行っている。これを通信教育事務課で確認し、加筆・修正を依頼し、授業計画書(シラバス)を作成している。 作成された授業計画書(シラバス)は、「授業概要」として全学生に配付するとともにホームページ上にも掲載している。	
授業計画書の公表方法	通学課程では、ホームページに公表している。 ・授業概要(シラバス)の参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/department/syllabus) ・成績評価の客観的指標の設定について 参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/pdf/outline/kouhyou/) ・豊岡短期大学GPAに関する規程 参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/pdf/outline/kouhyou/) 通信教育課程では、ホームページに公表している。 「授業概要」(シラバス)の参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/tushin/kodomo/about/curriculum/)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

通学課程では、科目担当者は、授業態度、小テスト、レポートや定期試験の結果を基に、授業概要（シラバス）に定めた割合で総合的に数値を算出することで妥当性を担保し、説明責任が果たせるような成績評価を行っている。また、学科会議でも成績評価に対する考え方の共通理解を図り、教育の質保証に向けた取り組みを行っている。さらに、各科目担当者は、本学の教育目標、教育職員免許法及び同施行規則並びに保育士養成施設の指定基準に基づくカリキュラムで教育活動を行い、定期試験においては「豊岡短期大学単位授与規程」により厳正に運用し、単位の認定を行っている。

通信教育課程では、通信教育の履修方法として①通信科目、②面接科目、③通信科目と面接科目の併習、④実習科目の4通りの履修方法がある。この履修方法ごとに成績評価の方法を以下のように設定している。

①レポート、科目試験、②スクーリング受講、③レポート、科目試験、スクーリング受講、④実習簿の4通りの履修方法それぞれに評価方法を定めている。この評価方法は、毎年専任教員で実施する授業方針編成会議において、評価に関する認識の統一を行ったうえで、レポートは、その可否を評価している。科目試験は、100点満点で60点以上を合格とし、得点領域を5段階SABCDにて評価している。スクーリング受講科目も、100点満点で60点以上を合格とし、得点領域を5段階SABCDにて評価している。実習科目は、実習簿により100点満点で60点以上を合格とし、得点領域を5段階SABCDにて評価している。すべての採点について、ループリック評価表を導入しており、評価の項目・基準を明確にしている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

通学課程では、GPA制度により、学習成果の獲得状況や達成度を査定する体制を強化している。この制度は、「豊岡短期大学GPAに関する規程」に定めており、グレードポイントの算出のための配点は、秀(90～100)4点、優(80～89)3点、良(70～79)2点、可(60～69)1点、不可(0～59)0点(カッコ内は各科目の成績評価素点)としている。このGPAに基づいて、学生の学習成果を査定し、学期GPAが1.5未満の場合は、クラス担任が教務委員会や教務学生課と連携し、次学期の履修登録までに指導・助言を行っている。さらに、GPAの平均値、最高値、最低値、標準偏差及び分布状況を教務委員会で分析することにより、学修成果の獲得状況が確認できている。

通信教育課程では、通信教育という特性を踏まえ、同一科目であっても一人の教員が全ての学生の成績評価を行うわけではなく、厳密かつ公正で客観的な成績評価を確立するために、ループリック評価表を導入しており、レポート、科目試験、スクーリング科目に対して、科目毎に評価方法を定めている。毎年専任教員が集い実施する授業方針編成会議において、成績評価に対して詳細な事項に及ぶ部分まで認識の統一を図っている。そして、GPAにより全体の成績分布を導出し分析する体制が確立できている。各学生の学修状況について、通信教育部の教務システム(TtLeS)の学生機能により学生自身が現在の学習状況、評価を把握できるようにしている。

また、GPAの分布状況を学務委員会で分析している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	通学課程では、各授業科目の成績評価方法は授業概要（シラバス）に、また、成績評価基準は学生便覧に掲載し、いずれもホームページ上で公表している。 トップページ→大学紹介→公表情報→教育情報の公開 ・授業概要（シラバス）参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/departments/syllabus) ・学生便覧 参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/pdf/outline/kouhyou/) ・豊岡短期大学G P Aに関する規程 参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/pdf/outline/kouhyou/) 通信教育課程では、ホームページ上に算出方法を記載し、開示請求のあった学生に対し個別に公表する。 (参照先 https://koutoku.ac.jp/toyooka/important/) 【通信教育部こども学科】客観的な指標の設定に-3/)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学では、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）について、次のとおり定めている。 「本学は「建学の精神」と「教育目標」に基づいて、保育者としての知識と技能を習得し、それらに裏打ちされた深い造詣と社会貢献への使命感を備える人材を社会に送り出すことに努めています。卒業認定にあたっては厳正に成績評価を行い、学則に規定する所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位授与します。」 通学課程では、卒業に必要な単位数を、総合科目 8 単位以上、専門教育科目 54 単位以上、合計 62 単位以上の修得を必要としている。 実際の学生の卒業認定にあたっては、毎年度卒業予定者の卒業可否を判定する教授会（卒業判定会議）において、単位の修得状況を審査し、卒業認定を行っている。 卒業の認定に関する方針の公表は、学生便覧に記載し、ホームページで受験生やその父母等に周知している。入学後のオリエンテーション等においても、説明機会を設けている。 通信教育課程では、卒業に必要な単位数は、総合科目 8 単位以上、専門教育科目 54 単位以上、合計 62 単位以上を修得することとしている。実際の卒業に当たっては、代議員会において、卒業判定会議を実施し、単位の取得状況等を審査し卒業認定を行っている。卒業の認定に関する方針の公表は、学習便覧に記載し、公表している。また、新入生オリエンテーションにおいても、説明機会を設けている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	通学課程では、入学者選抜要項、学生便覧に記載するとともに、ホームページ上で公表している。学生便覧は全学生に配付している。入学者選抜要項は資料請求者に個別に送付している。 ・学生便覧 参照先： (https://koutoku.ac.jp/toyooka/pdf/outline/kouhyou/) 教育情報の公開→学生便覧 2025 年 通信教育課程では、学習便覧に記載し、全学生に配付している。

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	豊岡短期大学
設置者名	学校法人弘徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
収支計算書又は損益計算書	ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
財産目録	ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
事業報告書	ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
監事による監査報告(書)	ホームページへ掲載している(デフォルト版印省略) https://koutoku.ac.jp/info/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 令和7年度事業計画 対象年度: 令和7年度)
公表方法: ホームページに掲載 https://koutoku.ac.jp/info/
中長期計画(名称: 学校法人中長期計画 対象年度: 令和2年度～令和7年度)
公表方法: ホームページに掲載 https://koutoku.ac.jp/info/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページにて公表している。 (参照先: https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/kouhyou/daisansha/ 認証評価を受けた自己点検・評価報告書) 本学ホームページ大学評価において、認証評価を受けた自己点検・評価報告書を公表している。 本学は、部署(短大事務局(庶務会計課・教務学生課、通信教育事務課、教学支援課))、常設委員会、関連規程に基づく委員会のすべてが、年度開始当初にPDCAサイクルを用いた改善シートを作成し、検証している。その部署・委員会の改善シートは、教授会において目標、計画、取り組みと成果について精査し、組織内部の質保証を試みている。
--

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：本学ホームページにて公表している。

（参照先：<https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/kouhyou/daisansha/> 認証評価を受けた自己点・検評価報告書）

本学は、令和 3 年 10 月に一般財団法人大学・短期大学基準協会の認証評価を受け、令和 4 年 3 月 11 日付けにて「適格」とであると認定されました。

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	こども学科及び通信教育部こども学科
教育研究上の目的（公表方法：入学者選抜要項、学生便覧、ホームページ）	（概要） 本学は、近畿大学の創設者 世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は 人に愛される人 信頼される人 尊敬される人を育成することにある」を建学の精神とし、人間は、自然のなかで他の生命とともに生かされているという認識をもち、他人や自然を思いやる豊かな人間性と創造性に培われたいわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。そして、この目的を達成するために、次のような教育目標を掲げています。 1. 人間は人間だけで生きているのではなく、自然のなかで他の生命とともに、生かされているという認識を持つとともに、その思想を実践する力を培う 2. 専門職業人としての基本的な倫理観を養うとともに、他人を思いやる心を培う 3. 専門職に必要な基礎的知識・技術を修得するとともに、創造性を培う 4. 社会・歴史に対する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培う 5. 国際社会に適応しうる感性を育むとともに、異文化を理解しうる力を培う
卒業又は修了の認定に関する方針	公表方法： 通学課程では、学生便覧、ホームページ上で公表している。 （参照先：https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/policy/） 通信教育課程では、学習便覧、本学ホームページにて公表している。 （参照先 https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/policy/）
（概要）ディプロマポリシー	学位：短期大学士（幼児教育学） 本学は「建学の精神」と「教育目標」に基づいて、保育者としての知識と技能を修得し、それらに裏打ちされた深い造詣と社会貢献への使命感を備える人材を社会に送り出すことに努めています。卒業認定にあたっては厳正に成績評価を行い、学則に規定する所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針	公表方法： 通学課程では、入学者選抜要項、学生便覧、ホームページ上で公表している。 （参照先：https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/policy/） 通信教育課程では、学習便覧、本学ホームページにて公表している。 （参照先 https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/policy/）
（概要）カリキュラムポリシー	本学は「建学の精神」と「教育目標」を実現するために「総合科目」と「専門教育科目」により保育者としての知識と技能を修得し、それらに裏打ちされた深い造詣と社会貢献への使命感を備えた人材を育成するカリキュラムを提供します。 1. 入学者の基礎学力の確認及び支援を図ります。また、「総合科目」の充実したカリキュラム展開により教養を備えた学生を育成します。 2. キャリア教育を展開し、マナーやコミュニケーション能力、基本的な倫理観、表現力を養います。 3. 「専門教育科目」においては、保育者としての知識と技能をより高め、社会の多様

なニーズに対応できる学識と良識とを備えるためのカリキュラム編成をします。
4. 「専門教育科目」においては、地域社会との連携を図りながら多彩なカリキュラムを展開し、保育者としての理解を深め認識するとともに人間性を養うことに努めます。
5. ボランティア活動の活性化を図り、学生が体験による学びを積極的に展開できるよう努めます。

入学者の受入れに関する方針

公表方法：

通学課程では、入学者選抜要項、学生便覧、ホームページ上で公表している。

(参照先：<https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/policy/>)

通信教育課程では、学習便覧、本学ホームページにて公表している。

(参照先 <https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/policy/>)

(概要) アドミッションポリシー

本学は「建学の精神」と「教育目標」とに共感する入学者を国内外から広く受け入れます。

1. 将来の目標を持っている人
2. 本学が求める基礎的な知識・技能を備えている人
3. 自己の探求ができるとともに、謙虚に学ぶ姿勢を有する人
4. 専門職を通して、社会に貢献したいと考える人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

ホームページで「学科紹介」及び「概要」にて公表している。

通学課程(参照先 <https://koutoku.ac.jp/toyooka/departments/>)

通信教育課程(参照先 <https://koutoku.ac.jp/toyooka/tushin/kodomo/about/>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
こども学科	－	5 人	5 人	5 人	0 人	0 人	15 人
通信教育部	－	15 人	11 人	18 人	1 人	人	45 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		684 人					684 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：					
		通学課程					
		参照先：					
		https://koutoku.ac.jp/toyooka/department/teachers/					
		通信教育課程					
		参照先：					
		https://koutoku.ac.jp/toyooka/tushin/kodomo/about/message/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
こども学科	40 人	40 人	100%	80 人	81 人	101.3%	—人	—人
通信教育部	2,800 人	1,229 人	43.9%	7,400 人	3,133 人	42.3%	—人	7 人
合計	2,840 人	1,269 人	44.6%	7,480 人	3,214 人	42.9%	—人	7 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
こども学科	32 人 (100%)	0 人 (0%)	30 人 (93.8%)	2 人 (6.2%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	32 人 (100%)	0 人 (0%)	30 人 (93.8%)	2 人 (6.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 通学課程では、毎年、ホームページ上で公表している。 参照先： https://koutoku.ac.jp/toyooka/department/jisseki/ 公立・私立こども園、保育所、幼稚園、児童養護施設、乳児院、一般企業、私立大学等				

(備考)					
c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
こども学科	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 通学課程では、授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関することについて、授業概要（シラバス）に記載し、また本学ホームページ上にて公表している。 (参照先 https://koutoku.ac.jp/toyooka/departement/syllabus/) 通信教育課程では、授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関することについて、「授業概要」（シラバス）に記載し、配布している。また、本学ホームページ上に公表している。 (参照先 https://koutoku.ac.jp/toyooka/tushin/kodomo/about/curriculum/)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 通学課程では、科目担当者は、授業態度、小テスト、レポートや定期試験の結果等を基に、授業概要（シラバス）に定めた割合で総合的に数値を算出することで妥当性を担保し、説明責任が果たせるように成績評価を行っている。また、学科会議でも成績評価に対する考え方の共通理解を図り、教育の質保証に向けた取り組みを行っている。さらに、各科目担当者は、本学の教育目標、教育職員免許法及び同施行規則並びに指定保育士養成施設の指定基準に基づくカリキュラムで教育活動を行い、定期試験は「豊岡短期大学単位授与規程」により厳正に運用し、単位の認定を行っている。（様式第2号の3（3）2. から再掲）卒業に必要な単位数は、総合科目 8 単位以上、専門教育科目 54 単位以上、合計 62 単位以上の修得を必要としている。 実際の学生の卒業認定にあたっては、毎年度卒業予定者の卒業可否を判定する教授会（卒業判定会議）において、単位の修得状況を審査し、卒業認定を行っている。 卒業の認定に関する方針の公表は、学生便覧に記載し、ホームページで受験生やその父母等に周知している。入学後のオリエンテーション等においても、説明機会を設けている。（様式第2号の3（3）4. から再掲） 通信教育課程では、通信教育の履修方法として①通信科目、②面接科目、③通信科目と面接科目の併習、④実習科目の4通りの履修方法がある。この履修方法ごとに成績評価の
--

方法が以下のように設定している。

① レポート、科目試験、②スクーリング受講、③レポート、科目試験、スクーリング受講、④実習簿の 4 通りの履修方法それぞれに評価方法を定めている。この評価方法は、毎年専任教員で実施する授業方針編成会議において、評価に関する認識の統一を行ったうえで、レポートは、その合否を評価している。科目試験は、100 点満点で 60 点以上を合格とし、得点領域を 5 段階 SABCD にて評価している。スクーリング受講科目は、100 点満点で 60 点以上を合格とし、得点領域を 5 段階 SABCD にて評価している。実習科目は、実習簿により 100 点満点で 60 点以上を合格とし、得点領域を 5 段階 SABCD にて評価している。すべての採点について、ルーブリック評価表を導入しており、評価の項目・基準を明確にしている。（様式第 2 号の 3（3）2. から再掲）

卒業に必要な単位数は、総合科目 8 単位以上、専門教育科目 54 単位以上、合計 62 単位以上を修得することとしている。実際の卒業に当たっては、代議員会において、卒業判定会議を実施し、単位の修得状況等を審査し卒業認定を行っている。

卒業の認定に関する方針の公表は、学習便覧に記載し、公表している。また、新入生オリエンテーションにおいても、説明機会を設けている。（様式第 2 号の 3（3）4. から再掲）

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	こども学科	62 単位	有・無	単位
	通信教育部 こども学科	62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPA の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表している

参照先 <https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/shisetsu/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
—	こども学科	540,000 円	200,000 円	310,000 円	学習管理費、施設設備費等
		円	円	円	
	通信教育部 こども学科 保育専攻	110,000 円	30,000 円	75,000 円	学習管理費、スクーリング管理 費など
	通信教育部 こども学科 幼児専攻	150,000 円	30,000 円	105,000 円	学習管理費、スクーリング管理 費など

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 通学課程では、建学の精神及びアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを定め、建学の精神や教育の目的と保育者に寄せられる社会的ニーズと責任、将来、社会貢献を願う学生のニーズを鑑み、それに対応する2つの学習成果として専門的学習成果と教養的学習成果を定め教育課程を編成している。 これらのことを踏まえて、各教科の授業概要(シラバス)の中に学修成果を明記し、達成基準、成績評価等を学生に公表している。授業の終了時期に学生からの授業評価アンケートを実施するとともに各科目担当者(専任教員)はPDCAサイクルによる授業改善シートを作成し、教育の質の向上に努めている。 学習支援として、本学独自科目「キャリアアップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」により、マナーや一般教養、文章表現力等の習得、さらに保育者に求められる資質・能力を養うため、「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を開講しており、1、2年生共同で「保育×〇〇(アート、心理、国際、伝統文化、おもちゃ、ミュージック、デジタル、読み聞かせ、人権、子ども遊び、スポーツ、自然)」といったグループに分かれ、ゼミナール形式で参加型、実践型、討議型のアクティブラーニングを取り入れた授業展開を行っている。 また、基礎学力が不足している学生や、授業進度が速いと感じている学生の学習状況を配慮するために、フォローアップセミナーの開催や、ピアノの実技、公務員試験対策講座等を実施している。 通信教育課程では、各科目のレポート、スクーリング、科目試験において評価基準を公開し、達成基準、成績評価等を学生に周知している。また、学習上の疑問を「質問票」や電話及びEメール等で相談を受け付けており、教員にも直接質問できるよう、教員のメールアドレスを機関誌「豊梅」で公開している。この他にも、学習をサポートするために、本学教員及び事務職員が全国に出向き、春・秋・冬の3回にわたって、巡回相談会を開催し、学生の質問や悩み、学習状況などの個別相談に応じている。 また、家庭や子育てと両立しながら学ぶ学生のために、学生自身が自宅でも成績等の学習進捗を把握できるような教務システム(TtLeS)を導入しており、通信制という特性を活かした学習環境を整えている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 通学課程では、進路指導委員会・編入委員会を中心に就職活動、編入学への支援を行っている。毎年、前後期オリエンテーションで進路に関する意識づけや進路指導計画についてガイダンスを行っている。 具体的な取り組みは、各学年で一般教養と専門教養をはかる就職模試の実施や、年数回の就職(進路)ガイダンスを開催し、その中でハローワークの職員の方による就職講話、卒業生を招いた就職活動や仕事についての話、1年生に対しては、学年末に2年生

からの就職活動の体験談などを聞ける場を設けている。就職対策として、就職試験対策講座により基礎学力の強化を図り、キャリアアップの授業により履歴書の書き方や基礎的なマナー等を学んでいる。また、複数の教員により個別に面接試験のアドバイスなどを行うことにより、学生の不安を取り除いている。 学生への情報提供は、就職資料室とポータルシステムの掲示板に幼稚園（認定こども園含む）、保育所、施設、一般企業別に求人票の概要を掲示（令和6年度は832件 内訳：幼稚園・認定こども園229件、保育所251件、施設165件、公務員108件、一般企業79件）し、求人内容の詳細は、就職資料室と学内サーバー上で閲覧できる環境を整えている。 通信教育課程では、直接の進路指導、就職支援は行っていないが、幼稚園、保育園、施設等から求人案内が届いた場合、隔月に発行する機関誌「豊梅」に掲載して、学生に周知している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 （概要） 通学課程では、各学年に2名の担任を配置しており、担任を中心に学習や心身の相談を受けるケースもある。個人情報に抵触しない限り、情報を教職員間で共有し、学生指導に活かしている。 また、非常勤職員（養護教諭、臨床心理士、公認心理師など有資格者のカウンセラー）1名による学生相談室を開室している。相談日は、月4日程度で年間約30日間を設けたり、学生相談室だよりとして「こころの居場所」等の書面を掲示することにより、時期に見合った内容の文書を提供している。 教務学生課の職員は、日常的に学生と接する機会が多いため、日頃の状況把握に努め、気になる点があれば担任やカウンセラーに相談し、必要に応じて学科教員へ情報共有し、丁寧な学生支援を行っている。 通信教育課程では、本学で設けている学生相談室を通信教育課程の学生も利用でき、月4回程度の相談日を掲示等で案内している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： 本学ホームページにて公表している。教員紹介において業績・社会的活動等を記すとともに、本学の研究紀要である「論集」をホームページ上で公表している。 「教員紹介」：https://koutoku.ac.jp/toyooka/departments/teachers/ 「紀要」：https://koutoku.ac.jp/toyooka/departments/kiyou/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。